

課題対応取組み報告書

【共通】

名称	あいりんブランチ				
提出日	R6	年	6	月	20 日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	☐ 地域や専門職とのつながり等	☒ 社会資源の創設（居場所づくり等）			
	☐ 認知症高齢者等の支援	☐ 自立支援・介護予防・健康づくり等			
	☐ その他（ ）				
活動テーマ	ひとり暮らし高齢者の居場所づくり、社会参加支援				
地域ケア会議から 見えてきた課題	あいりん地域は、ひとり暮らし高齢者が多く、地域とのつながりや親族関係が希薄であり、社会参加への意欲が少ない。 毎日の居場所も無く、アルコールやギャンブルに依存する人も多く、依存することで金銭管理が出来なくなっている人も多くいる。				
対象	あいりん地域高齢者				
地域特性	ひとり暮らし男性高齢者の生活保護受給者や低年金受給者が多い。その住まいは簡易宿泊所転用型が多く、管理が行き届かない所も多く、住環境が整っていない。地域とのつながりや人間関係は希薄である。				
活動目標	ラジオ体操や百歳体操、ポッチャ等社会参加への意欲を引き出せるような行事を市民館と企画、共催し、居場所づくり、社会参加への意欲を引き出す				
活動内容 (具体的取組み)	毎週水曜日午後4時からラジオ体操を実施し、平均12～13人の参加 毎週木曜日午後3時から百歳体操を実施し、平均10人の参加 毎月2回ポッチャを実施し、平均14～15人の参加 それ以外にも、不定期で講座を開催し、食の健康講座、防災講座、リハビリテーション講座、ほっこり運動会等、様々な分野で地域の方の関心を引くものを考えて開催した。				
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	1年間のラジオ体操延べ参加人数は583人、百歳体操延べ参加人数498人、ポッチャ延べ参加人数261人、定期開催の映画上映会、不定期開催の健康講座等が居場所づくりとして、普段の体操等には参加しない方も来館されている。				
今後の課題	ひとり暮らし男性高齢者の社会参加への意欲を引き出すことや、アルコールやギャンブルに依存せざるを得ない状況にいる人たちへの支援が難しく、アルコールやギャンブルに依存するがために金銭管理が出来なくなり、第三者に管理されるようになっている人も多く、権利擁護支援も課題となってきている。				
※以下は、区運営協議会事務局にて記入					
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和6年7月22日（月）				
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	☒ 地域性 ☒ 継続性 ☒ 浸透性・拡張性 ☒ 専門性 ☒ 独自性				
評価できる項目（特性） についてのコメント * 今後の取組み継続に向けて、区 地域包括支援センター運営協議 会からの意見等を記載。	ひとり暮らし高齢者の多いあいりん地域で、ラジオ体操、百歳体操、ポッチャや、様々な分野で地域住民の関心の引くものを意識して活動しており、居場所づくりや社会参加を促進していることが高く評価できる。				